

秋本番！後期が始まります！！

先日、前期最後の大きな行事である5年生の花背山の家長期宿泊学習に行ってきました。バスが花背の里に入ると、そこはもうすっかり秋の装いでした。野原一面ススキの穂がゆらゆらと風に揺れ、民家の庭先にはコスモスの白やピンクの花が愛らしく咲いていました。そして、花背山の家の敷地に入ると、桜の木の葉は赤く染まり、宿泊棟のそばでは松尾芭蕉が「秋海棠（シュウカイドウ） 西瓜（スイカ）の色に咲きにけり」と詠んだ淡い紅色の秋海棠の花が咲き始めていました。そんな花背山の家で、5年生の子どもたちは、「自律」を全体テーマとして、119人全員が力を合わせて3泊4日の宿泊学習に参加しました。その様子からは、一人一人の成長がしっかりと見て取れました。最後の夜には、おうちの方にサプライズで書いてもらった手紙が一人一人に手渡され、読み終えて涙を流す子どももいました。短いようで長い4日間。おうちを離れての生活は、楽しくもあり、家族と離れたさみしさも感じていたことでしょう。改めて、家族への感謝の気持ちを感じた子どもたちでした。保護者の皆様、準備等ご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。

さて、本校は10月1日から後期（下半期）がスタートします。つまり、ちょうど年度の折り返し点を迎えたわけです。学校では、7月に児童や保護者の皆様にもご協力いただきました学校アンケートや全国学力・学習状況調査の結果等をもとに、教職員で学校教育方針と照らし合わせながら前期の取組について振り返りを行い、改善すべき点は変えていこうと話し合いました。

一人一人の児童に目を向けますと、個人差はあるものの、4月からの半年間の間にどの子どもも日に日に成長している様子が、学校生活の中で見て取れました。給食をしっかりと食べられるようになった子、背がぐんと伸びた子、走るのが速くなった子、ちょっと我慢できるようになった子、漢字をたくさん使えるようになった子、自分の考えをきちんと話せるようになった子、黙って一生懸命掃除ができるようになった子…保護者の皆様には、学校でのお子たちの成長ぶりを家庭訪問や懇談会、通知票などで日頃よりお伝えしていますが、十分に伝えきれていないこともあります。前期の終わりを迎えた今、保護者の皆様にはお子たちのこの半年間の成長・変容を改めて見取り、認めてやっていただけたらと思っています。そして、子どもたちが、自分の成長や変容を実感し、次の目標を見いだせるようになってくれると、後期の学校生活がより充実したものとなることでしょう。どの子どもも、よいスタートを切ってくれることを願っています。

教職員一同、後期も子どもたちのさらなる成長に向けて、力いっぱい取組を進めてまいり所存でございます。保護者の皆様には、後期も引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

校長 今村 ひろみ